

発行日：2021年4月1日

障害のあるかたの地域生活にむけて

副区長 荒牧 広志



もえぎの会の皆様、後援会や関係者の皆様には、日ごろから目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

もえぎの会は、昭和53年に前身となる家族会の活動にはじまり、現在では障害者総合支援法に定める生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援の各通所事業及び障害者グループホーム(4施設)の運営等、その活動は多岐にわたっております。第四中学校跡地に開設した「沙羅の家 清水」では、短期入所の運営や区が委託している地域生活支援拠点において、障害者やご家族からの24時間365日相談対応を行っていただいております。

また、毎年多くの方が訪れている「しいの実祭」では、地域との交流が行われてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い昨年はカタログ販売が中心となりました。徹底した感染症対策を図りながら、法人の様々な事業を継続してきたことに敬意を表します。

区では、本年4月に開設予定の第四中学校跡地を活用した障害者・高齢者の複合施設の整備支援を進めています。民間事業者が整備・運営するこの施設では、身体障害者入所支援施設、短期入所、障害者通所事業(生活介護)、基幹相談支援センター等、様々な事業が行われます。

さらなる障害者施策の推進が期待されるではありますが、障害福祉の充実は、行政だけでできるものではありません。もえぎの会の活動のように、地域に根ざした取組が極めて重要でございます。障害があっても、安心して地域で暮らし続けることができるまちづくりにこれからも努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今後とも、法人が掲げる「自助自立」の精神をもって、皆様の活動が益々ご発展されることをお祈り申し上げます。

2021年度 もえぎの会 事業報告会のご案内

皆様におかれましては、日頃より、もえぎ会の活動にご理解を賜りまして、ありがとうございます。

恒例のもえぎの会 事業報告会は、会場が使用できませんので、7月に通常の形式で開催することはできません。今後できる方法を検討して、改めてご案内申し上げます。



2019年の様子

もえぎの会 2021年度事業計画

もえぎの会は2000年に無認可の作業所から社会福祉法人として認可された通所授産施設として出発し、障害者自立支援法の施行により、生活介護事業と就労継続B型事業に移行した。そして、目標としていたグループホームを開設し、日中活動の場と生活の場の運営を開始した。その後、就労移行支援事業、短期入所、地域生活支援拠点（目黒区受託）を新設した。

今後、さらにサービスの品質向上と併せて運営基盤の強化を目指すことが求められる。

運営基盤の強化については、業務運営の収支改善に加えて、しいの実社、沙羅の家ともに、老朽化に対応した改修が必要となっている。

重点課題

1. 事務局の機能の見直し

長期的な視点で、今後の法人運営をさらに安定的にさせるために全事業を包括して管理する必要がある。そこで、今年度は事務局に沙羅の家担当を設置し、円滑な運営を支援して、法人全体の運営強化につなげる。

2. 部門間の相互理解と情報共有（しいの実社）

2施設、3事業所5部門に分かれており、全体の円滑な運営と質の高い支援を達成するために、相互理解を深める必要がある。運営状況や各部門の役割と特徴、異なる課題の理解を促進できるように情報提供、共有等の工夫をしていき、スタッフの相互理解を深め、協力体制を改善する。

3. 利用者・家族の高齢化に伴う作業環境と生産・運営体制の見直し（しいの実社）

高齢利用者の増加、設備の老朽化が進む中、生産や支援の体制を改善する必要がある。長期的な視点で、設備の改修・買替を進めるとともに、高齢者支援の仕組みや知識を向上させる。

4. 就労移行支援事業の利用者確保（しいの実社学大スマイル）

新規利用者の確保をするために、学校や各関係機関との連携を深める活動をする。

また、地域との連携について、今年度は、コロナ化も想定して再度スケジュールや業務分担を行い、具体的な活動を進める。

5. 沙羅の家の組織体制の整備と強化（沙羅の家）

業務手順や事務処理は、昨年度に引き続き「業務の標準化の改善」に取り組み、事務局と連携して、施設長・課長・チーフの役割と責任を明確にし、権限の委譲を図る。さらに、沙羅の家に係る課題の検討の場としチーフ会議の機能強化を図る。

クッキーリニューアル

4月から、しいの実社のクッキーがリニューアルします。

これまでと製品のラインナップは変わりませんが、新しい機器を導入し、工程を改善します。それに合わせて、材料はマーガリン、上白糖から、バター、グラニュー糖に材料を変更し、風味や食感を向上させます。何度も試作と試食を繰り返して、準備しました新作クッキーをぜひ味わってみてください！



容量、価格もお求めやすいように変更し、標準で40g入り150円となります。ご贈答、発送等承りますので、気軽にご用命ください。ホームページからのお申込みもお待ちしております。ぜひお試し下さい。

第19回 ウィズコロナのリモートしいの実祭 開催

毎年大勢の方に参加していただいているしいの実祭の開催を11月28日(土)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、例年通り大勢の方に来ていただくことが難しい状況となりました。しいの実祭は、地域の方が楽しみにしてくださっており、しいの実社としては、地域への貢献や施設・利用者の理解の機会となっており、大切なイベントです。

“大勢が集まることは難しい”状況の中で、どうしたら

目的を達成できるのか、検討を重ね、「ウィズコロナのリモートしいの実祭」と命名し、施設への入館はなしにして、カタログでの開催としました。カタログ販売を通じて、皆様と交流するということです。

当日は、カタログで注文していただいた商品のお渡しのほかに屋外での販売、店舗の臨時営業をしました。結果として、地域の方はもとより、通常はしいの実祭に参加できない遠方の方にも注文をいただき、前年を上回る売り上げを達成することができました。商品選び、撮影、カタログ作成、注文の受け渡し、感染対策など初めてのことであり、不安と困難のなか進めました。初めての経験で、反省することもありましたが、大きな成果を上げることができ、安堵するとともに、自信にもなりました。この経験は今後

に活かしていけると確信しました。

また、しいの実祭当日は、施設の中は通常の活動をしました。徹底した感染症防止対策をした中での活動を青木区長、荒牧副区長、上田部長をはじめとする皆様に視察していただきました。青木区長からは、徹底した対策について、お褒めの言葉とともに、スタッフへの労いの言葉をいただき、感謝しました。

緊急事態宣言下で、利用者の生活を守り、活動を継続してでき上がった製品を皆様にお届けでき、少しでも私たちの活動に触れ、知っていただける機会となっていれば幸いです。



青木区長、荒牧副区長、上田部長、保坂課長をお迎え

第19回 ウィズコロナのリモートしいの実祭 カタログの1ページ

11月28日より販売
30,000円以上で500円×3枚分商品券・10円以上で注文の方は商品内容等ご相談可。

3,000円 (3,310円相当の商品 税別込)	2,000円 (2,160円相当の商品 税別込)
100円クッキー×11種 - クッキーセット (オレンジ・チョコ・カレンス・ごま・ピーナッツ) - クッキー (プレーン・チョコ・紅豆・ごま・シフォン) - ちょっとしたプレゼントにも...	- クッキー×9種 (カレンス×2、オレンジ×2、チョコ×2、ごま×1) - クッキー×6種 (紅豆・プレーン・チョコ・ごま・白ごま・ごま) - クッキー×2種 (ショコラ・シフォン)

※送料別途ご連絡させていただきます

ウィズコロナのリモートしいの実祭 第19回

カタログでの開催です

お得な限定商品色々

カタログにて予約受付ます。お問合せは店頭またはHPで

新型コロナウイルス感染拡大・緊急事態宣言のなか、しいの実社を休業しないことで守られた健康と生活がありました。そんな中でつくり続けた製品、知的障害のかたが毎日働き作り続けたもの。そこにはたくさんの方の思いやドラマがあります。

製品を手にするだけで、しいの実社を知っていただく。それによって、みなさまとしいの実社が未来につながります。

本来は多くの方に直接お会いして、つながりたいところですが、それができない今の状況で、今年度は、カタログを使ってしいの実祭をお届けすることにしました。私たちの活動や製品に思い、涙がこぼれ、人とのつながりを、そして手にした方への何かが届くことを願っています。しいの実社 一同

11月28日(土)に感染防止対策を行い、しいの実社に屋外販売場を開設します。

(飲食、屋内はありません) **ポイント3倍**

学芸大学店も臨時OPENします。

社会福祉法人もえぎの会 しいの実社
〒152-0002 東京都目黒区目黒本町2-7-3
電話 03-5724-7153



施設内は通常の仕事

後援会

会員インタビュー

萌木

医療法人社団

浦安市北栄1-12-25 ウイング・エフ4F
TEL.047-351-1033
<https://www.urayasu-hifuka.com>

浦安皮膚科は、浦安駅から徒歩1分にある地域に根差した皮膚科です。地域で信頼される身近なかかりつけ医であり、そのうえで高度な医療及び専門分野である美容的な治療も行われています。

患者さんに寄り添い、治療の選択肢を多く準備し、患者さんと一緒に治療を考え、相談することを心掛けて診療されています。

その方針は、加藤篤衛院長だけでなくスタッフにも浸透しており、症状や薬の塗り方まで丁寧な説明を一人一人が心掛けています。

地域での活動として浦安市内で160名の医師が所属する浦安市医師会の理事を務められ、市民の健康活動の普及に貢献されています。

少し離れた目黒にあるもえぎの会後援会に入会されたのは、大学時代の恩師であるしいの実社利用者のご家族の紹介がきっかけです。



加藤篤衛院長

皮膚科には、様々な患者さんが来院され、時には意思疎通が難しいこともあります。その際には、一緒にいらっしゃるご家族からお話を伺い、患者さんの特徴的な症状に、注意を払って診察をされています。院内はバリアフリーで車いすの方でもスムーズに通れるよう廊下を広くするなどの配慮がなされています。

日頃の診察に、地域の活動に取り組まれる加藤院長の息抜きは、数十年の仲間とのゴルフ。最近はなかなか機会を持てないようです。まだまだ厳しいでしょうが、どうぞストレスをため込まず、地域の頼れるドクターとして活躍を続けていただきたいと願っています。



伊庭工務店



伊庭秀幸 社長

しいの実社の改修、沙羅の家 向原の新築などでお世話になっている伊庭工務店社長、伊庭秀幸さんにお聞きしました。現在は、住宅が主たる仕事です。UR(都市再生機構)では、城南地区を中心に6000件の管理をされています。

伊庭工務店の企業理念は「人生を欲張れ!!」。お客様も、社員も「夢」を追って人生を欲張って欲しい、という言葉だそうです。「日々の暮らしにおける幸せとは何か？」をお客様と一緒に考え、ご提案をさせていただいています。」と熱く伝えてくださいました。

その熱さは地域の活動においても、「地域密着型の工務店」として、寺社、保育園・幼稚園・小、中学校の改修も手掛けられ、目黒区周辺の方々のお困りごとに応えられるよう、「街の便利屋さん」になりたいと、人に寄り添う気持ちも伝わってきました。「地域の方々との協同により高齢者や子供たち、障害を持たれた人たちが安心して暮らし暮らせる街づくりのお役に立ちたい」というお考えに、共感させられました。

「人の可能性を見だし、自立を目指すという目標のもとに成長を続けられるしいの実社には敬服しております。お役に立てることがございましたら…」という、温かいお言葉をいただき感激しました。

「現在は、先行きが見えなく不安な気持ちですが、改革のチャンスと捉え、クラウド化や新しい試みを考えています。新たな挑戦が生き残りの鍵と前を向いていこうと思います。」

お時間があるときは、「釣り」でおさかなに遊んでもらうことが心の洗濯だそうです。



本社オフィス

株式会社 白川電機製作所

目黒区目黒本町2-7-1
TEL 03-3714-2131

しいの実社のお隣に本社を構える株式会社 白川電機製作所は、大正2年創業で100年以上の歴史を誇る配電盤システムメーカーです。

北海道から、沖縄まで8か所に営業所があり、日本全国を舞台に活躍する企業です。お客様への誠実な対応をモットーとし、多くのお客様から寄せられた信頼をもとに官民間わず多くの実績をお持ちです。

「配電盤システム」という製品は、簡単に言えば、電柱から電線を引き込み、電圧を下げる配電盤、各部屋のコンセントや照明に電気を送る分電盤、大型の機械を制御する制御盤など、ビルや工場の電気を安全に供給し、事故の際には他へ波及しないよう遮断する電気制御機器のことです。身近なものでは家庭の玄関や洗面所に設置してあり、電気を使いすぎるとブレーカーが落ちる機器が分電盤です。



白川 尚樹社長

もえぎの会の後援会には、沼野後援会会長と現白川節太郎会長のお付き合いがあり、設立当初から加入していただいています。



高圧受電設備

毎年開催しているしいの実祭でも、敷地の一部を貸していただくなど、ご協力していただいております。昨年はこのコロナ禍でお客様にご来場していただけないため、リモートしいの実祭という形でカタログ販売等を実施しました。その際にも、商品のお買い上げやご寄付で暖かなご支援をいただきました。社員の皆さんにもしいの実社のお店をご利用していただいております。

長くご支援をいただいておりますが、今回の取材を通して改めて活動の内容を認識させていただきました。いつも気さくに対応して下さる皆さまに心より感謝申し上げます。

～白川 尚樹社長からのメッセージ～

「我が子の幸せは自分たちの手で創り上げていく」という『自助自立』の精神で、自閉症という対応の難しい、理解されにくい障害に適切な手立てをもつ職場を作りたいという思いを結集されたとお聞きしました。そのような場所で作られた無添加クッキーや天然酵母パンを安心していただいております。同じ目黒区民として微力ではありますが応援させていただきます。

新規後援会員をご紹介します

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上
会費はお手数ですが、直接お持ち頂くか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会后援会

問い合わせ先 もえぎの会后援会事務局(電話:03-5724-7153)

* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

沙羅の家



沙羅の家の食事

沙羅の家 世話人 松沼 富恵

コロナ禍で、自由な外出もままならない昨今ですが、南にある沙羅の家では、利用者の楽しみのひとつである「食事」には特に力を入れ、皆さんに少しでも喜んでいただけるよう日々工夫を重ねています。

週末の食事作りでは、自分の家族にオムレツの作り方を教わるスタッフ、料理レシピのアプリとにらめっこのスタッフと様々です。

そうして完成したある1週間のメニューから一部抜粋してご紹介します。

パエリア、コンソメスープ、白身魚のチーズ焼き、カラフルサラダ、ゼリーといった具合で、洋食あり、中華あり、和食あり。利用者が満足そうに舌鼓を打つ姿は、作り甲斐を感じる瞬間でもあります。

食後の「美味しかった」を表現するダンスを披露する利用者もいて、その踊りも日々変化に富み、拍手喝采で、笑顔がはじけます。写真入りでわかりやすくした1週間のメニューを

朝・夕食毎に読み上げて、心待ちにしている利用者もいます。

2月23日祝日イベント

沙羅の家 世話人 河東 かおり

沙羅の家では週の途中にある祝日は「休日イベント」を実施しています。以前は外出できましたが、コロナ禍の実施です。今年の天皇誕生日はイベント委員スタッフも悩みました。密を避け、総勢50数名で会食、お出かけできる場所、多くのメンバーが楽しめ思い出になる見所や体験型施設などを想定していましたが、予期していなかった緊急事態宣言です。

そこで考えたのが、「出かけた気分になる」各地の名産品、全国の作業所で作られたスイーツのお取り寄せをして、オンラインで、全部の沙羅の家を結んで抽選会をすることでした。

当日午前に6種の果物ジュース、3種のスイーツを目当てに「あみだくじ」を引きました。

私が所属する沙羅の家 清水Aでは抽選会の中継中に鳴り物や拍手でみんなが盛り上がりしました。他のユニットでも同じように、くじ選びで色々考え、賞品が決まりました。初めての企画でお互いの音声聞き取りづらかったことが反省点でしたが、利用者の盛り上がる様子を見られて、安堵しました。来年は是非、お出かけをしたい

ですね！

オンラインによるイベント

編集後記

昨年度は知恵を絞って、サービスをただ縮小するのではなくどうしたらできるかという発想で取り組みました。皆さまにも温かいご支援を頂きありがとうございました。今年もよろしくお願いします。(岡田) 6

発行: 社会福祉法人もえぎの会

住所: 目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部)

電話: 03-5724-7153

e-mail: shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/



プレゼントに笑顔

